

三鷹国際学生宿舎院生会について

東京大学三鷹国際学生宿舎院生会

三鷹国際学生宿舎院生会（以下、院生会）は、留学生の学生生活をサポートすることを目的とした組織です。三鷹国際学生宿舎に居住する院生会員（大学院生）は留学生に対するチューター活動を行うことが義務付けられています。院生会はチューター活動をお互いに助け合い、また円滑に行うための組織で、院生会員である大学院生で構成されます。大学院学生宿舎入居者募集（チューター）選考試験で入居した大学院生は、全員が院生会員です。ここでは、現在の院生会の組織と活動を簡単に紹介します。

A. 組織の構成

現在の院生会構成員は、三鷹国際学生宿舎に居住する大学院生（2022年12月現在25名）です。院生会幹事として、幹事長・会計・書記が置かれ、院生会構成員による投票に基づいて半年ごと（5月と11月）に選出されます。各院生（チューター）は概ね、その入居期間中に1回は幹事を務めることが求められます。

B. チューター活動とは？

留学生の多くは日本語が得意ではありません。使用言語が英語になることが多々あります。また、留学生はチューターに、困った時のお手伝いのほか、個人的に積極的に留学生と友達になることや、「縁の下」での日常生活のサポートを期待しています。チューター活動には、ガイダンスやチュータールーム（以下、TR）の開室といった留学生への支援だけでなく、留学生と交流を深めることを目的としたイベントやパーティーの企画も含まれます。また、これらの活動を組織として行うために、さらにそれに必要な教養学部や宿舎内外の他団体との連絡、交渉を行うために、定期的にミーティング（月例会）を開きます。

院生会員には**院生会活動への積極的、確実な参加**が求められますが、院生会の活動がチューター活動の全てではなく、これ以外にも個別に質問を受けたり、買い物に行ったりと各人でチューター活動を行っています。

また、一年に一度各院生は自らのチューター活動について教養学部へ報告書を提出します。

C. 活動内容

院生会が行っている活動を簡単に紹介します。詳しい内容は別紙の「**院生会の具体的な活動内容**」を参照してください。

- ・ **留学生受け入れ** 新しく入寮する留学生に寮のルール、暮らしなどについて説明します。年2回（4月と9月）に行います。
- ・ **TR (Tutor Room)** 留学生の相談を受け、また交流をするためにTRを開室しています。
- ・ **月例会** 毎月一回、活動方針などを決めるためにチューター全員でミーティングをします。
- ・ **イベント** 大小さまざまなイベントを企画、開催します。
- ・ **メール** チューターメールに届く様々な相談に対応しています。

このように、院生会は数々のイベントを企画します。一見大変そうですが、留学生や他の院生、学部生と知り合いになり、一緒にいろんなことを考えて実行していくことは、普通の学生生活では得られない体験です。院生会ではこのように文化やバックグラウンドの異なる人たちとコミュニケーションをとることや、自分からアイデアを出し、それをみんなで実行に移していくことが好きな人、楽しめる人を求めています。